

# 原子力防災の広域避難等に関する質問・要望書

関西広域連合 御中

兵庫県知事 井戸敏三様

福井県原発で事故が起こった際の広域避難について、6月に関西広域連合でカウンターパート方式による避難受け入れの大枠が示され、9月には、福井県のおおい町、高浜町、小浜市、若狭町の住民が避難する市町名が公表されました。

前回7月に関西広域連合および兵庫県と私たち市民が話し合いを行った際には、避難地域および避難施設の確定まで行う予定であること、避難ルートの確保、琵琶湖をはじめとした飲料水が汚染されることへの検討と対策等、今後検討していくとのことでした。

そこで、以下の点について、検討状況等をご回答ください。

## 1. 避難計画

- ・現時点で避難計画の具体化はどのように進んでいますか。
- ・福井県との調整は進んでいますか。問題になっているのはどのような点ですか。
- ・避難ルート、避難を決めるための放射線量測定体制等は進んでいますか。
- ・避難施設の確保はできていますか。避難受け入れ時および避難後の施設や対応職員の体制はどのように考えられていますか。

## 2. 複合災害対策

- ・地震、津波に限らず、原発事故が大規模災害と複合的に起こった場合を考慮して避難計画は策定されていますか。例えば今年の台風、大雨で福井県内や京都府北部でも道路が使えなくなり通行止めが起っています。

## 3. 兵庫県内の放射能被害

- ・今年4月に公表された兵庫県の放射能放出のシミュレーションでは、放射性ヨウ素による甲状腺被ばく線量（1歳児、7日間）が篠山市で167ミリシーベルト、豊岡市、丹波市、神戸市でも50ミリシーベルトを超える値が出ました。ヨウ素剤の備蓄や配布について検討していますか。
- ・一方で住民にヨウ素剤を飲む必要があるほどの状況の中で、福井県や京都府の住民を受け入れる計画を立てるのは矛盾するものではありませんか。

#### 4. 避難ルートの放射能拡散予測

- ・福島原発事故では、高線量の方向に避難してしまった人々が多くいます。住民が避難ルートを自分で知るためにも、福井県、京都府等を含む汚染の状況を知ることは不可欠です。避難地域、避難ルートを含めた福井県・京都府等の地域についても、兵庫県の放射能拡散シミュレーション結果を公表してください。

#### 5. 安全な水の確保

- ・琵琶湖をはじめ飲料水の水源が汚染された場合の対応について、各水道事業団での対応、広域連合との連携について、どこまで話し合いは進んでいますか。

#### 6. 再稼働との関係

- ・以上を含めて、現実的で実現可能な広域避難計画ができなければ、住民の安全を保障することはできないと考えます。避難計画ができないうちは福井の原発の再稼働はできないという姿勢を公に示してください。

2013年11月12日

#### 提出団体

原発にたよらない滋賀の会（滋賀）  
原発なしで暮らしたい丹波の会（京都北部）  
グリーン・アクション（京都市）  
七番めの星（京田辺市）  
おおい原発仮処分尼崎原告の会（兵庫）  
脱原発わかやま（和歌山）  
美浜の会（大阪）

#### 連絡先団体

グリーン・アクション  
京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL:075-701-7223 FAX:075-702-1952  
美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）  
大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581